



# 各検討会議における委員からのご意見（まとめ）

（令和2年第1回～令和3年第2回まで）

令和3年度第3回

医療的ケア児等コーディネーター配置・運用検討会議

- 令和2年度の到達点を検討  
（事務局の提案）
  - ・ コーディネーターの配置・運用にかかる課題を整理した上で、コーディネーターの役割・業務内容を策定する
  
- 横須賀・三浦圏域における医療的ケア児等の支援に係る取組みについて  
（検討の流れ）
  - ・ 横須賀・三浦圏域における医療的ケア児等の支援に係る取組みを報告の上、その取組みに対する課題を整理
  
  - ・ その中で、コーディネーターに求められる役割について検討

- コーディネーターの役割について
  - ・ ライフステージ毎に応じたニーズを把握できるように、「モニタリング」をしてほしい
  - ・ 各関係機関の連携を軸にした支援者支援、社会資源創出の支援などの地域支援が、コーディネーターの役割の基本的な軸となる
  
- コーディネーターの配置・運用に係る課題について
  - ・ 圏域単位の運営になるため、市町を超えた調整をどのように行うのか
  - ・ 支援者間の横の連携が必要
  - ・ 対象児をすべて把握できていない
  
- その他
  - ・ コーディネーターと支援者の情報交換、意見交換も必要であるが、コーディネーター間でも必要である
  - ・ コーディネーターの広報が必要（どのような役割なのか、何をしてくれるのか）

※ 令和2年度第2～3回会議を新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため、中止とした。

- 令和3年度の到達点、ロードマップを検討（事務局の提案）
  - ・ 令和4年度のコーディネーター運用試運転に向け、コーディネーターの役割・業務内容、配置・運用方法を検討
    - ※ 令和2年度の到達点を「役割・業務内容の策定」としたが、令和2年度第1回以降の会議を中止としたため、進捗に遅れが出ている
- コーディネーターの役割（事務局案）について

☞ 各種の相談に対応し、その相談内容から、

**「適切な各分野のサービス・支援に繋ぐとともに、必要に応じて助言を行う」**

☞ 医療的ケア児等とその家族に対して、総合的かつ継続的に支援を提供するため、

ケース毎に**「多職種連携ができるチーム」**の形成を促し、地域づくりに向けた課題の抽出・共有等を行う

☞ さらに、支援ニーズをリアルタイムで把握するため**「モニタリング」**を実施し、切れ目ない支援の提供を目指す

## ■ コーディネーターの業務内容（事務局案）について

### 1 スクリーニング

- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、必要な助言を行う

### 2 地域づくりに向けた個別課題の抽出・共有及びモニタリング

- ・児とその家族の状態像や課題等を多職種の支援者間で抽出・共有する
- ・また、多職種の支援者間の連携、支援に係る課題等について、情報・意見交換する
- ・さらに、支援者と情報を共有し、医療的ケア児等の支援状況や課題をリアルタイムで把握する

### 3 行政との連携

- ・各市町村・各圏域に設置されている医療的ケア児等の支援に関する「協議の場」や「児とその家族との交流会」等を通じ、把握した医療的ケア児等の課題を関係機関と共有する

- コーディネーター役割・業務内容について
  - ・ 役割・業務の内容は良いと思うが、少し負担が大きいのではないか
  - ・ 業務内容について、少し整理（もう少しシンプルに）が必要ではないか
  - ・ 既に似たような取組みを行っている機関もあるので、そことの連携が必要である  
ex. 基幹相談支援センター、障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター
- その他（配置・運用について）
  - ・ 医療・福祉をはじめとした多職種がコーディネーターとして配置され、それぞれの専門性を活かせるような運用方法を検討する必要がある
  - ・ 業務の内容は多いが、複数人をコーディネーターとして配置し、お互いに協力して取り組めるような運用方法を検討する必要がある

- コーディネーターの業務内容について（R3第1回会議を受けて）
  - ・ コーディネーターの業務内容について、支援者支援と地域支援の二本柱として、以下のとおり整理した

## 第1回会議での提案

コーディネーターの業務は主に…

### 1 スクリーニング

- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、必要な助言を行う

### 2 地域づくりに向けた個別課題の抽出・共有及びモニタリング

- ・児とその家族の状態像や課題等を多職種の支援者間で抽出・共有する
- ・また、多職種の支援者間の連携、支援に係る課題等について、情報・意見交換する
- ・さらに、支援者と情報を共有し、医療的ケア児等の支援状況や課題をリアルタイムで把握する

### 3 行政との連携

- ・各市町村・各圏域に設置されている医療的ケア児等の支援に関する「協議の場」や「児とその家族との交流会」等を通じ、把握した医療的ケア児等の課題を関係機関と共有する

## 第2回会議での提案

コーディネーターの業務は主に…

## 個別支援・地域支援の二本柱

### 1 個別支援（受ける・繋ぐ・支える）

- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、支援者に対して助言を行う（支援者への支援）
- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者への継続的な支援を通して、状態像や支援等の状況を把握する（モニタリング）

### 2 地域支援

- ・個別支援を通じて抽出された課題等を、自立支援協議会等の医療的ケア児等の支援を協議する場で共有し、課題解決に向けた協議を行う

## ■ コーディネーターの相談受付体制について（事務局案）

### 案①：ワンストップ対応

相談窓口を1、2カ所程度設置し、ワンストップで受け付け、その窓口から、地域に配置されたコーディネーターへ繋ぐ

→ 各種相談の振り分け作業が煩雑か

### 案②：共有・協議対応

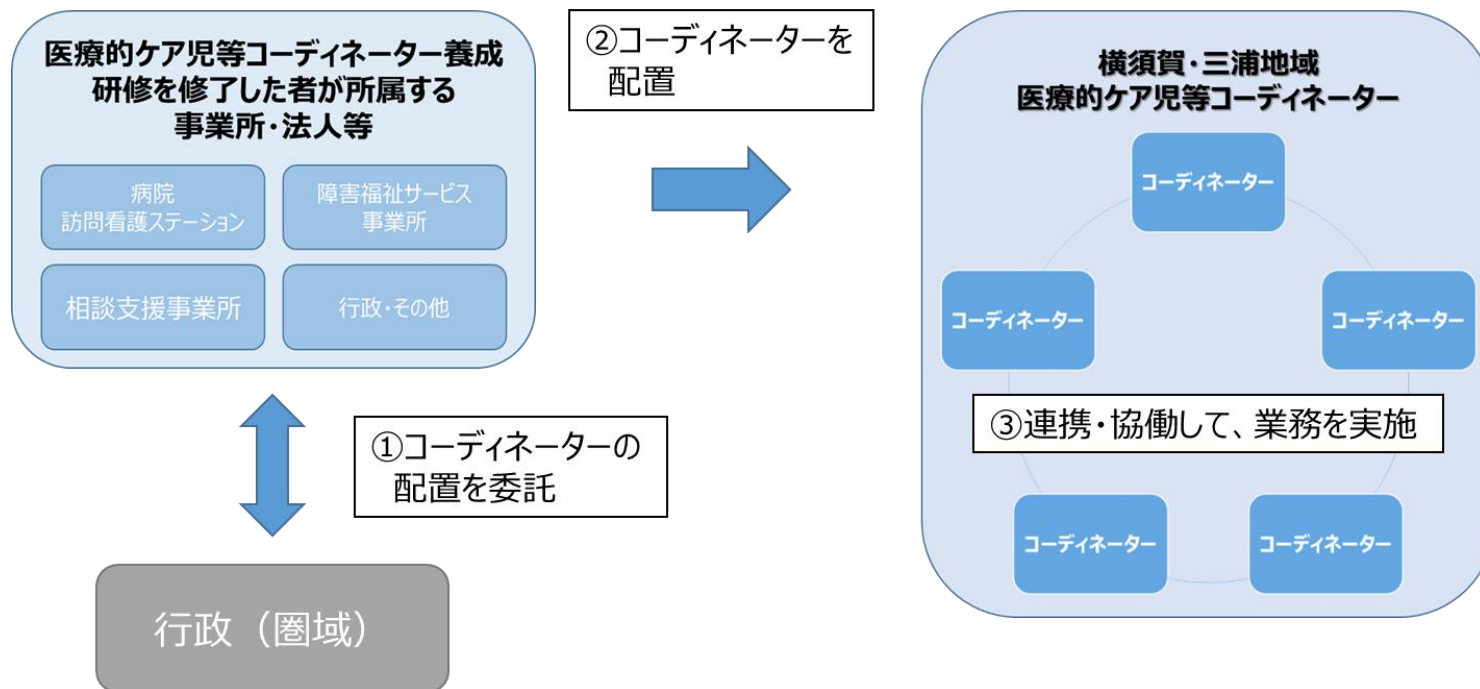
地域に配置されたコーディネーターそれぞれが相談を受け付け、その内容をコーディネーター同士で共有し、対応方針等を協議する

→ 各種相談について、共有・協議する体制・場が必要になる

→ 横須賀・三浦圏域においてどちらの体制が適切か



## ■ コーディネーターの配置・運用方法について（事務局案）



- 行政は、事業所・法人等に、「コーディネーター」の配置を委託する
  - ・委託先は、医療的ケア児等コーディネーター養成研修を修了した者が所属する事業所・法人等を想定
  - ・委託を受けた事業所・法人等は、医療的ケア児等コーディネーター養成研修を修了した者を「コーディネーター」として、配置する（複数名、配置することを見込む）
- 配置された「コーディネーター」は、他のコーディネーターと連携・協働して実施する。

- コーディネーター役割・業務内容について
  - 事務局案のとおり、合意を得た
  - ・ 一方で、旗振り、まとめ役が必要ではないかという意見があった（取組みに一貫性を持たせるため）
  
- コーディネーターの相談受付体制について
  - ・ ワンストップ対応する必要はない（振り分け作業が煩雑、専任ではないため）
  - ・ それぞれの専門性を活かすためにも、相談内容を共有し、対応を協議すべき
  - ・ 窓口は複数あってもよいが、所在を明確にし、広報が必要
  
- その他（配置・運用について）
  - ・ 配置について、アクセスの容易性の観点も考慮すべき
  - ・ 複数人をコーディネーターとして配置し、お互いに協力して取り組めるような運用方法を検討する必要がある